

日本家庭教育学会第32回大会ご案内

◆大会テーマ

家庭において引き継がれるべきもの
—「女性論」「身体論」の観点から—

◆主 旨

今回の大会では本学会の役割を再確認するとともに、家庭教育において個々人が、また社会が引き継いでいくべきものとは何なのかを、「女性論」「身体論」の観点から問い直します。この問題に発信してこられた津田塾大学の三砂ちづる先生を基調講演者としてお迎えして皆さんとともに考えていきたいと思ひます。

◆日 時：平成 29 年 8 月 19 日（土）09：45～17：00

◆場 所：貞静学園短期大学

◆参加費（資料代）：1000 円（懇親会参加者別途 5000 円）

◆時 程：

09：15 受付開始 09：45 開会式

10：00 個人研究発表

12：00 昼食・休憩（*全国理事会）

13：10 講演および全体会

講 師 三砂ちづる（みさご・ちづる）氏。山口県生まれ。京都薬科大学卒業後、ロンドン大学で疫学を学び、Ph.D.（疫学）を取得。ロンドン大学研究員、JICA 疫学専門家として活動の後、現在津田塾大学国際関係学科教授。著書に『死にゆく人のかたわらで』（幻冬舎、2017年）、『女たちが、なにか、おかしい おせっかい宣言』（ミシマ社、2016年）、『女が女になること』（藤原書店、2015年）、『五感を育てるおむつなし育児』（主婦の友社、2014年）、『女を生きる覚悟』（中経 KADOKAWA 出版、2014年）など多数。女性論・身体論などの観点から家庭、家族を問い直す知の発信を行ってきている。

16：40 閉会式・会員総会

17：30 懇親会

第32回大会 個人研究発表者募集

【応募資格】 日本家庭教育学会の正会員

* 「『家庭教育研究』寄稿規定」の改訂（平成28年4月1日より）により、＜投稿者は、原則として投稿に先立ち本学会大会もしくは本学会主催の研究会等において口頭発表をおこなった者とする＞、という条項が加わりましたので、『家庭教育研究』への投稿を予定される方は大会発表を申し込んでください。

【発表時間】 発表時間は20分、質疑10分とします。

【発表申込】 発表をご希望の方は、テーマ及び氏名・所属・住所・電話番号を明記の上、平成29年6月15日までに下記の連絡先までお申込みください。

【原稿提出】 締め切りは、平成29年7月15日です。なお、応募多数の場合には、大会準備委員会で選考させていただきます。申請者には発表用のフォーマットをお送りします。

【問合せ先】 研究発表をご希望の方は、下記までメールにてお申し込みください。

日本家庭教育学会事務局

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-1

E-mail : jimu@hesoj.com